'72 8
No. 3
昭和47年8月1日発行
発行 横越村役場

広報よこごし

おもな内容
1. 夏季交通事故防止期間（P1）
2. 交通安全作文コンクール入選作（P1）
3. 農業委員決る（P2）
4. かあちやんも大勉強（P3）
5. 村の歴史をさぐる（P3）
6. 連載　家庭教育（P4）
7. こどもサロン（P4）

墓参り

塩井三作

年経ればふるさと恋ほし幼な日に
よく叱られし父母の墓あり

洗はれて清しき墓に灯ともせば
田舎のお盆はしみじみとよし

旅人のごとき思ひそ墓参して
一人ひそかにふるさとを去る

（横越村出身・新潟市船江郵便局長）

横宝橋

心配された大雨もなく、すつかり夏らしい日が続いて稲も元気に風にそよいでいます。

そろそろお盆も近ずいて子ども達が、お盆提灯をさげてお墓参りをする風景が見られることでしょう。

盂蘭盆会は倒懸の苦者を救う意味で、盂蘭盆経に、ある仏弟子が、餓鬼道に落ちさかさずりの苦しみを受けている亡母の救出方法を釈迦にたずねると、「毎年七月十五日安居が終ったとき、種々の施し物を供えて三宝に供養すれば現世の父母は餓鬼の苦をまぬかれ、人天中に生きる。」と教えた。これがお盆のはじまりで、七月十五日におこなわれるのもこれによる。

江戸時代十三日から十六日までをお盆とし、いろいろ供物を供え灯篭に火をともし、門には迎え火をたいて僧を詣じて読経し、祖先の霊をまつる。更にこの期間に念仏をとなえながら踊る、盆踊りがおこなわれて次第に盛んになり新しい踊りや歌がつくられて各地方毎に特色ある多くの盆踊りが行われるようになつてきたと辞典にありました。

とにかく、お盆は親類縁者が集りなごやかに過す楽しい日々です。それぞれの家庭は祖先からの長い歴史を持つてこの村に住まわれているのです。年一回一家そろつて祖先の霊をまつり冥福を祈る貴重な行事だと思います。子どもたちにとつても祖先や父母を敬う気持を養う上で大いに役立つことでしよう。

最近、各地で盆踊りが盛んに行われるようになつてきました。横越村でも各地域毎に毎年盛んな盆踊り大会が開かれています。若者はもちろん子どもから老人までみんな一しよになつて踊ることは、地域の連帯感を増すことにもなるでしよう。

（田中）

一人一人が交通ルールを守ろう!!

～夏季事故防止期間～

7月21日(金)～8月20日(日)

夏季における本県の交通事故は、高温多湿という気象条件、および海水浴等のレジャー、墓参、帰省などから交通量の増大など運転者および道路交通環境の変化で、例年過労、安全運転義務違反等に起因する交通事故が増加しています。

これらの交通事故を防止するため、村民の一人一人が交通ルールを守り、交通事故の被害者や加害者にならないように注意したいものです。

◎歩行者へ

1. 横断歩道を正しく渡る。
2. 車の直前、直後で道路を横断しない。
3. 斜めに道路を横断しない。
4. 道路へ飛び出さない。
5. 道路で遊ばない。

◎自転車乗りへ

1. 左側を一列に進行する。
2. 右折は、大きく直角にまわる。
3. 狭い道路から広い道路へ出るときは、広い道路の交通安全を確かめる。
4. 自転車の二人乗り、無灯火は危険です。
5. 左折、右折は確実に手をあげて合図する。

◎バイク、自動車の運転者へ

1. 横断歩道の歩行者は車輌より優先する。
2. 無免許運転、飲酒運転、過労運転、スピード違反は厳禁。
3. 無理な追い越は事故のもとです。
4. 給業点検を確実に。
5. 他人に迷惑をかけない安全運転。

◎一般家庭のみなさんへ

1. 道路に物品や土砂を出したり、長時間の駐車をしない。
2. 道路に出た樹木の枝の伐採や生垣の手入れを良くする。

交通安全入選作文

運転手や大人の人たちにうったえたいこと

沢海小五年　佐藤朱美

わたしの村では、ていばうの上の大きな県道と村の中の村道があります。

わたしたちの村の村道には、博物館にくる人々の自家用車や、村民の車がとめてあります。

特に、旅行でバスが何台もくる時がありますが、その車が置かれると、やつと一番小さな車が通れるくらいのせまい道はばになつてしまいます。それで私たち、学校にいく生徒などは、せまい道にしよつちゆう車が通るので、はじつこのせんなじ（どぶのこと）の、はしの方を歩いたりしています。

でも大人の人たちは、何もしようとしません。すると光円寺の前に立つて注意するだけです。それが過ぎると、自分たちから道のまん中を堂々と歩いています。

そんな時、遺間だけ、わたしたちだけ注意して、そんな行動をとるなんてすごいと思います。

わたしと弟も、そのせまい道のために、事故にあいかけた事があります。

その場所は、清月堂の前の道です。弟と私が、右側（右側といつても車があつたのでまん中近くでした）を歩いていると、横にすると道の二倍ぐらいのトラックが、「ゴーッ」と大きな音を出して、走つてきます。わたしは、すぐ清月堂のほうにとびのきましたが、動は、びつくりして足が動かないように立ちすくんでいました。私はひかれると思い、「つとむ、あぶね！」と、大声でいいました。動はその声にビックリして、反対側の車の間にさつと入り込み、よけました。でもその時、ひざを止つている車にぶつけたようでした。

「バックホーロー。気をつけれー」。とトラックの運転手がどなつたのも、かまわず、動の遇へかけよりました。

でも、事故の中には、私たちの不注意からおきたものもたくさんあります。

一番多いのがとび出しです。同じ組のすすむ君も、三学年の時の夏休にとび出して、トラックだつたかにひかれた事もあります。また去年は二年の杉本由美子さんがとび出して、自家用車にはねられて二ケ月入院していました。

私たちもこういう事には気をつけようと思います。また組で二人のり（自転車）が禁止されています。それも注意したいと思います。私たちも、色々な所で注意するつもりです。ですから大人の人たちも村道の事などを考えてくれたり、きまりを守るようにしてもらいたいと思います。

さいわい、ひざのかすりキズだけでした。まだ、このようなめに、あつた人がたくさんいます。

交通安全作文入選者

◎小学校低学年の部
一等　神田　朋子　横越2
二等　阿部　朋子　小杉3
三等　目黒　正美　沢海3

◎小学校高学年の部
一等　佐藤　朱美　沢海5
二等　五十嵐佐代子　横越4
三等　江口久美子　木津4

◎中学校の部
一等　田中せつ子　中学3
二等　目黒　裕　中学2
三等　武藤智代子　中学1